



一問一答方式による

一般質問

食料自給率向上、
地産地消の推進



飯塚 悦男

問 市民の健康を守り、地域農業・経済の振興に寄与する地産地消の考えを伺う。

市長 生産者の顔が見える農産物は、安心、安全で新鮮な食料を供給でき、環境負荷が少ない地産地消は、地域農業・経済に寄与するので進めてまいります。

問 地元農産物を販売する小売店、料理する飲食店、ホテル、製造業者等の連携の下、「仮称」地産地消推進協力店」制度を考えてはどうか。

市長 県の取り組みとして、「食料王国みやぎ地産地消推進店」の登録制度があり、これらの効果を十分見分けて、岩沼独自の「協力店認証制度」の導入可能性を調査研究してみます。

問 食料自給率向上について、児童・生徒にどのように周知しているか。

教育長 小学校では5年生の社会科「私たちの食生活の変化と食料生産」、中学校では地理的分野「農作物の自由化とこれからの農業」で学習しています。また栄養職員が給食指導の際、食料自給率について説明しています。

地元大豆を使用し

問 豆腐等も寺島地区転作組合等の転作大豆を給食に使用すべきでないか。

教育長 価格によっては使用できませんが、学校栄養士会と供給が可能かどうか研究していきます。



森 繁男

阿武隈川河川敷での 猟犬訓練

問 訓練を行っている人たちは認可を受けているのか。

市長 河川敷は、国土交通省東北地方整備局で管理をして、窓口である仙台河川国道事務所岩沼出張所に対応しています。確認したところ、河川敷での猟犬の訓

練は放し飼いと同じ扱いと見なされ、県の動物の愛護及び管理に関する条例で禁止されています。通常は許可していないとの回答です。

今後どのように対応

問 国土交通省（国交省）では許可はしていないとのことだが、事行われていないのではないか。

市長 毎年春と秋、猟犬能力の検定大会が行われ、国交省では、一時占用の許可で行っているとのこと



阿武隈公園グランド

問 大会が行われる日が確定したら散策者、サイクリング者に注意するような呼び掛けを行っているか。

市長 河川敷全体は国交省の考え方、そして実際に許可するに当たっては保健所等で行うということです。

何といっても飼い主の責任があります。どういう状況であれ不安や迷惑が掛からない管理をさせていただくのが第一です。市としてやることは限界があります。保健所や国交省と連携して、どういった対応ができるか検討したいと思

企業誘致



梶谷 洋夫

問 市は、企業誘致に向けて、県に空港周辺の一部の都市計画変更の申請をするのか。

副市長 都市計画の変更については、空港周辺の相の釜、矢野目西及び中坪、荷揚場の地区を平成22年5月